

- 1 開催日時 令和2年3月19日(木) 午前10時00分～午前11時57分
- 2 開催場所 長野市役所第二庁舎9階 会議室291
- 3 出席者 出席委員7人(うち代理出席1名)、欠席委員1人、事務局職員6人、
(株)地域総合計画1人
- 4 次第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 長野市自転車活用推進計画(案)について 資料1-1
資料1-2
 - 4 その他

【3 協議事項】

(1) 長野市自転車活用推進計画(案)について

事務局から資料1-1及び資料1-2に基づき説明を行った。

[意見等]

◆A委員

6頁の(5)自転車通行空間の左側写真については、前回の部会で双方向の写真になっているため変更することになったが、差し替えた写真も双方向の写真となっている。例えば、国道で整備しているところであれば、19号の安茂里や上高田北があるので写真の提供はできる。

⇒事務局

ガイドラインで示されている、自転車道と自転車専用通行帯と車道混在の中からできれば選びたいと考えている。長野市で車道混在の場所があるが、矢羽ではなくピクトグラムだけであるため、できれば上高田北の写真を提供いただきたい。

◆A委員

承知した。

◆B委員

31頁の優先整備路線の整備計画の表内で、整備延長の全体合計が24.6kmとなっているが、34頁の指標では26.4kmとなっている。どちらが正しいのか。

⇒事務局

34頁の指標26.4kmが間違っているため、24.6kmに修正いただきたい。

◆C 委員

整備計画延長 24.6 kmは、これから5年間で整備する部分ということによいか。

また、34 頁の指標内で整備済み延長 13.3 kmとあるが、この表記だと残り 13.1 kmが5年間で整備する部分だと捉えられると思うので、整備計画延長 24.6 km 計 37.9 kmというような表記がわかりやすいと思う。

⇒事務局

整備計画延長 24.6 kmが、5年間で整備する部分となる。

また、指標の表記の仕方についても承知した。

◆B 委員

31 頁の優先整備路線の整備計画の表内で整備延長 (km) の部分で※2、※3と表記され、下段に注釈されているが、※印ではなく簡単な言葉で表せば良いと思う。

◆C 委員

※2、※3の内容について、事務局に説明を求めた。

⇒事務局

28 頁の基本的な整備形態 (イメージ) に基づき説明をし、ここに掲載している整備形態で整備する部分を※2としている。

◆C 委員

※3については、歩道上で色が変わっている部分になるということだと思う。

何れにしても、スペースの問題もあるが、※印の表記ではなく、例えば自転車専用道路や自転車通行可歩道といった様に表せないかということである。

⇒事務局

スペースがなく、このような表記になってしまったので、行の高さなどを変え表記したうえで注釈を入れるようにする。

◆C 委員

何れにしても、※印ではなく対応できる言葉をいれ、詳細は下段に注釈を入れるようお願いしたい。

⇒事務局

検討する。

◆C 委員

整備率は本計画ネットワーク路線の整備率ということなのか。

23、24 頁にネットワークの将来像が出ている、これに対して 35.1%が整備できたと思っていた。

⇒事務局

全体計画から優先整備路線（短期路線）を決め、この5年間で全部整備したいという考えがある。ただ、30 頁には水色で示した路線があるが、この路線は千曲川新道という長野電鉄の跡地を自転車・歩行者優先道路として現在整備しているもの。

既に実施している事業なので優先路線として位置付けたが、5年間で全路線を整備することができないので、できる部分のみを優先路線として捉えて、赤色で示している。

赤色（整備予定）の路線を合計すると 24.6 km。黒色（整備済み）の路線を合計すると 13.3 kmとなる。

◆C 委員

整備率を出す数字が、何かをわかるようにしてほしい。割り算の式を入れるなど。

※3は、整備済みはないのか。

⇒事務局

自転車通行可歩道に指定されている部分を黒い点線で示している。自転車が歩道を走行することが良くないとされている。歩道の中で注意喚起することを整備として捉えていいのかというところもあったので、指標には含めていない。

◆C 委員

既に出来上がっているように見えている部分（自転車通行可歩道）も、今後この計画の中で必要に応じて整備や注意喚起を実施していくから、今の現状をもって良しとはしないということによいか。

⇒事務局

そうである。

◆D 委員

千曲川サイクリングロードが灰色になっているが、中長期計画ということによいか。

しかし、現在サイクリングロードとして完成しているので黒色でも良いのではないのか。

⇒事務局

サイクリングロード自体が、堤防道路ということで市道・県道といった道路の認定がない。舗装が良くない部分を整備していくという考えがあるが、この5年の計画の中で実施するところまで達していなかったのが計画に入れていない。

◆D 委員

軽井沢から栄村までは、サイクリングロードとしては素晴らしいロケーションである。サイクリストを呼び込むという意味では、とても有効な道路だと考える。長野県がトータル的にイメージを描いているが、軽井沢から栄村までは整備が必要な場所もあるが繋がっている。トータル的に考えると良い観光振興になるのではないかと考える。

⇒事務局

まったく考えていないわけではなく、ネットワーク路線の中にも位置付けさせていたでいる。この5年間の中で具体的にどのような整備をするかというところがまだ決まっていない。進めていく中で、観光案内的な看板も取り入れていこうと考えている。

◆C 委員

サイクリングロードを今後も整備をしてより良いものにしていこうという意見と、現時点で自転車道として十分に機能しているので地図の中に掲載して良いのではないかという意見だった。

この地図を見て、サイクリングロードが千曲川の堤防に既にあることを知ってもらえることが、自転車の普及につながる。

⇒事務局

サイクリングロード部分は別の色を変え、凡例にサイクリングロードと表示できるか検討する。

◆C 委員

ネットワーク路線の総距離は何kmか。また、整備には何年かかるのか。

⇒事務局

ネットワーク路線の総距離は、約150km。この5年間の整備計画では、歩道も含めて計画路線の半分程度の整備を予定している。

◆C 委員

予算の関係があるが、2030年から2035年頃には全路線の整備が完了する予定となる。続いて、32頁の実施スケジュール内で矢印が途中で止まっている、「災害における自転車活用に関する検討」は、令和4年までに結論を出すということか。

⇒事務局

令和4年度までに検討し、計画の見直しを行う予定である。

◆C 委員

続いて、キャッチフレーズの検討を行い、次のとおり決定した。

自転車で『ながの』を早爽（さっそう）と

～ 自然・健康・家計にやさしいまち ～

◆C 委員

決まったキャッチフレーズについて、今後庁内の中で意見がでる場合があるか。

⇒事務局

意見が出る場合もある。

その際には、ご相談させていただく。

◆C 委員

計画全体を通して、意見を求めた。

◆B 委員

23頁、24頁のネットワーク路線図が見開きで見えると見やすい。

⇒事務局

印刷の際に調整する。

全体を通して、頁とレイアウトの調整は今後検討する。

◆C 委員

13 頁に SDGs の 17 の目標のロゴを入れてほしい。

全体を通して、図や表が出てくるが図や表と表記されていないものがある。

図と文章に関連があるものに関しては、図—1 などとした方が良い。

⇒事務局

キャッチフレーズは、13頁に掲載したいと考えているがご意見いただきたい。

◆C 委員

表紙と 13 頁に入れていただきたい。

また、「早爽（さっそう）と」と「自然」の文字は緑色にしてほしい。

【4 その他】

次回の部会は、6月30日に開催を予定しているので、後日ご通知する。

午前11時57分終了